

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・iシェアーズ・日経225インデックス・ファンド（愛称：サクっと日経225）」は、2024年7月10日に第1期決算を行いました。

当ファンドは別に定めるETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、配当込みの日経平均株価（日経225）の値動きを示す日経平均トータルリターン・インデックスの値動きに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第1期末（2024年7月10日）

基準価額	13,133円
純資産総額	5,663百万円
第1期	
騰落率	31.3%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBI・iシェアーズ・日経225インデックス・ファンド （愛称：サクっと日経225）

追加型投信／国内／株式／インデックス型

## 交付運用報告書

第1期（決算日：2024年7月10日）

作成対象期間（2023年7月12日～2024年7月10日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

（2023年7月12日～2024年7月10日）



- (注1) ベンチマークは、日経平均トータルリターン・インデックスです。詳細はP12をご参照ください。  
 (注2) ベンチマークは、設定日（2023年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。  
 (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。  
 (注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・良好な企業収益
- ・米追加利上げ観測が大きく後退し、世界的な株高となったこと
- ・円安・ドル高が進行したことで、輸出関連株が買われたこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）が現行の金融引き締めを維持する姿勢を示したこと
- ・米景気の先行き懸念
- ・中東での地政学リスク台頭により原油価格急騰に対する警戒感が高まったこと

## 1万口当たりの費用明細

（2023年7月12日～2024年7月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 7	% 0.064	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 3 )	(0.024)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 3 )	(0.024)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	33	0.299	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(33)	(0.299)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
			※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	5	0.046	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 2 )	(0.019)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	( 3 )	(0.026)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	45	0.409	
期中の平均基準価額は、11,158円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注3）項目ごとに円未満は四捨五入しています。

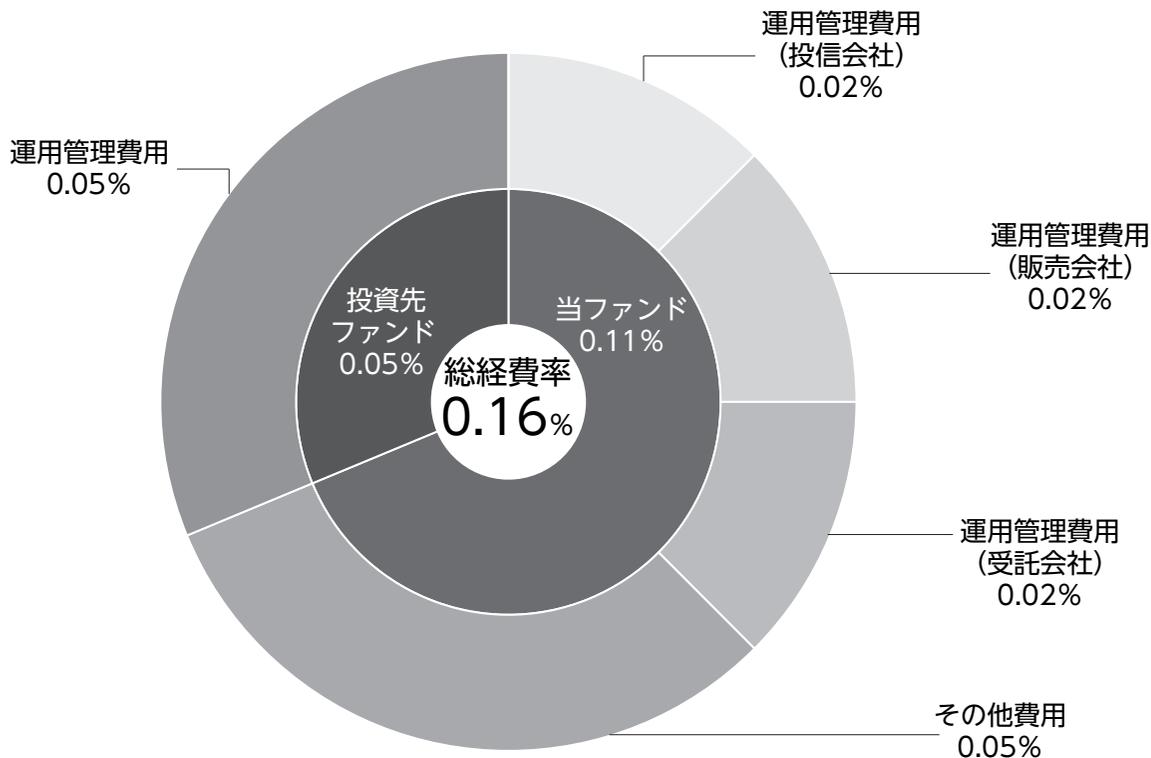
（注4）売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注5）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.16%です。



総経費率 (①+②)	0.16%
①当ファンドの費用の比率	0.11%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

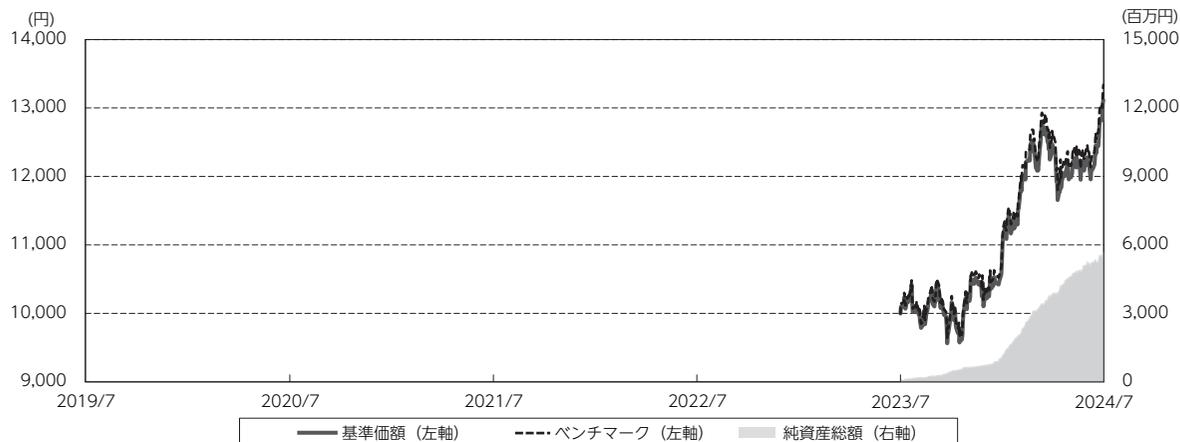
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2019年7月10日～2024年7月10日）



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2023年7月12日～2024年7月10日）のみの記載となっています。
- (注2) ベンチマークは、日経平均トータルリターン・インデックスです。詳細はP12をご参照ください。
- (注3) ベンチマークは、設定日（2023年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注4) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。
- (注5) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2023年7月12日 設定日	2024年7月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	13,133
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0
基準価額騰落率 (%)	—	31.3
ベンチマーク騰落率 (%)	—	33.4
純資産総額 (百万円)	67	5,663

- (注1) ベンチマークは、日経平均トータルリターン・インデックスです。詳細はP12をご参照ください。
- (注2) ベンチマークは、設定日（2023年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注3) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。
- (注4) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注5) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年7月10日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

（2023年7月12日～2024年7月10日）

設定当初、日経平均株価は32,100円近辺から始まりました。2023年9月中旬までは、円安が進んだことで輸出関連株中心に買いが入り、米半導体大手エヌビディアの好業績への期待感などからテクノロジー株が買われたほか、内外の金利上昇に銀行、保険株も強含み上昇しました。その後、米公開市場委員会（FOMC）の経済見通しで米連邦準備制度理事会（FRB）が現行の金融引き締めを維持する姿勢を示したことから下落し、10月4日には期間中最安値の30,487.67円をつけました。その後、米長期金利低下や日銀の緩和継続姿勢を背景に続伸し、11月20日には6月に付けた戻り高値を一時的に上回りました。年末にかけては、米景気の先行き懸念から円高に振れたことで自動車、銀行、商社株が反落しました。年明けより為替が円安・ドル高に振れたため輸出関連株が買われたこと、米金利上昇により日本の金利上昇期待が強まり銀行株が買われたことなどで上昇し、一時もみ合った後、米国株市場でハイテク株中心に主要株価指数が過去最高値を更新したこと、日本株の割安感から外国人投資家の大口買いが入り、2024年3月22日は、日経平均株価が場中に41,087.75円の史上最高値をつけました。その後、機関投資家の益出し売り、米長期金利の上昇と早期利下げ期待の後退、中東情勢の緊迫化などから、4月中旬には36,700円台まで大きく下落しました。期末にかけては、FRBによる利下げ期待から米国株式上昇や世界同時株高の流れを受け上昇し、今期最終日7月10日に一時高値41,889.16円をつけ、41,800円台で当期を終えました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年7月12日～2024年7月10日)

ベンチマークである「日経平均トータルリターン・インデックス」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるiシェアーズ・コア 日経225 ETFを高位に組み入れて運用を行いました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年7月12日～2024年7月10日)

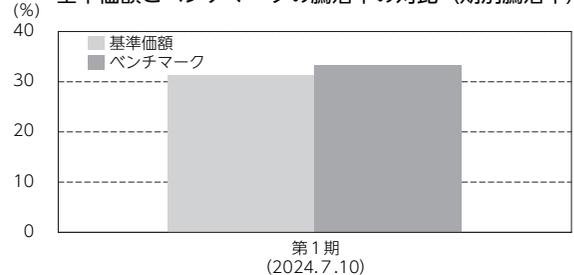
期中における基準価額は、+31.3%の上昇となり、ベンチマークである「日経平均トータルリターン・インデックス」の騰落率である+33.4%を概ね2.1%下回りましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

（マイナス要因がプラス要因を上回りました。）

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



(注) ベンチマークは日経平均トータルリターン・インデックスです。詳細はP12をご参照ください。

**分配金**

（2023年7月12日～2024年7月10日）

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期
	2023年7月12日～ 2024年7月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,133

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、配当込みの日経平均株価（日経225）の値動きを示す日経平均トータルリターン・インデックスの値動きに連動する投資成果をめざします。

## お知らせ

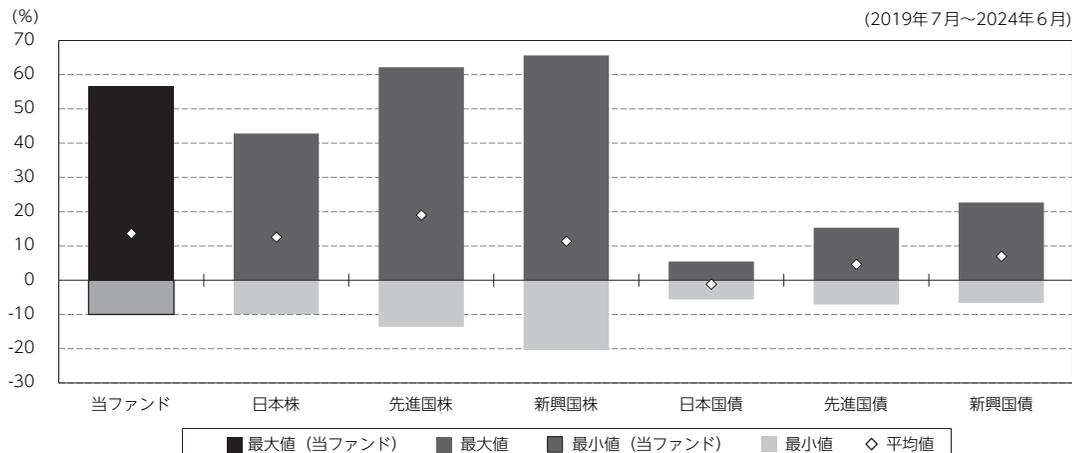
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型
信託期間	無期限（設定日：2023年7月12日）
運用方針	日経平均トータルリターン・インデックスの値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	別に定めるETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	別に定めるETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、配当込みの日経平均株価（日経225）の値動きを示す日経平均トータルリターン・インデックスの値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年7月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。収益分配にあてなかった留保益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.7	42.8	62.2	65.6	5.5	15.3	22.7
最小値	△ 10.0	△ 9.9	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	13.6	12.5	19.0	11.4	△ 1.2	4.7	7.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年7月から2024年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため騰落率の算出はファンドのベンチマーク（円換算）を用いています。したがって、ファンドの実績ではありません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

### 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年7月10日現在)

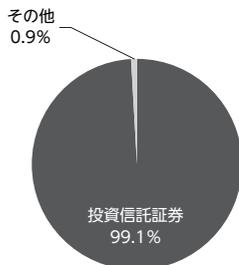
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
	%
iシェアーズ・コア 日経225 ETF	99.1
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

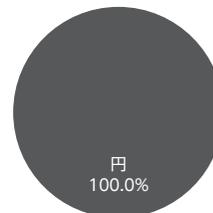
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入投資信託証券評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の債券評価額に対する比率です。

## 純資産等

項目	第1期末
	2024年7月10日
純資産総額	5,663,375,776円
受益権総口数	4,312,276,711口
1万口当たり基準価額	13,133円

(注) 期中における追加設定元本額は5,960,907,723円、同解約元本額は1,715,680,628円です。

## 組入上位ファンドの概要

## iシェアーズ・コア 日経225 ETF

## 【基準価額の推移】

(2023年6月～2024年6月)



## 【組入上位10銘柄】

(2024年6月末現在)

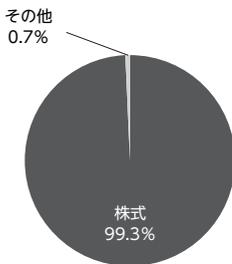
	銘柄名	比率
		%
1	ファーストリテイリング	10.0
2	東京エレクトロン	8.6
3	ソフトバンクグループ	5.1
4	アドバンテスト	4.2
5	信越化学	2.6
6	TDK	2.4
7	リクルートホールディングス	2.1
8	KDDI	2.1
9	ダイキン工業	1.8
10	ファナック	1.8
組入銘柄数		225銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## 【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

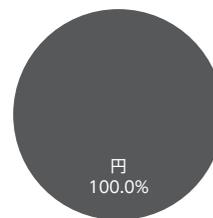
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2024年6月30日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

※ブラックロック・ジャパンのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

### ＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークは、日経平均トータルリターンインデックスです。

#### ○日経平均トータルリターンインデックス

日経平均トータルリターンインデックスとは、日本経済新聞社が東証プライム市場上場銘柄のうち、市場を代表する225銘柄を対象に算出・公表している株価指数で、日経平均株価を構成する225銘柄の値動きだけでなく、各構成銘柄の配当も加味した場合のパフォーマンスを示す株価指数です。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

#### 〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

#### 〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。